



# B U S I N E S S R E P O R T

## [第102期] 報告書

平成25年4月1日から平成26年3月31日

## 株主の皆さまへ

---

株主の皆さまには、平素から格別のご支援を賜わり、厚くお礼申し上げます。  
ここに小松精練株式会社の平成26年3月期（平成25年4月1日から平成26年3月31日まで）の業績についてご報告申し上げます。

当連結会計年度におけるわが国経済は、政府の経済政策や日本銀行の金融政策への期待感から円高是正や株式市場の好転が続き、民間企業の設備投資が下げ止まるなど、一部では緩やかな回復基調となりました。しかしながら、円安による原燃料の価格上昇や新興国の経済成長が鈍化するなど、当社を取り巻く市場の回復には依然として時間を要す状況が続いております。

このような状況の中、当連結会計年度の売上高は36,753百万円（前期比2.4%増）となり、営業利益は362百万円（前期比71.8%減）、経常利益は993百万円（前期比45.1%減）、当期純利益は772百万円（前期比35.6%減）となりました。

この業績を踏まえ、当期の期末配当金につきましては、普通配当は1株当たり6円とさせていただき、中間配当金と合わせた年間配当金は1株当たり12円となります。

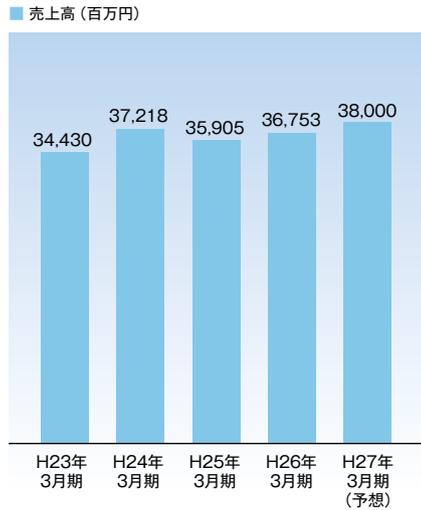
今後におきましては、市場セグメンテーションに基づいた開発スピードを高め、市場や用途開発を加速化させ持続的な成長の実現を目指します。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご理解とご支援を賜わりますよう、心からお願い申し上げます。

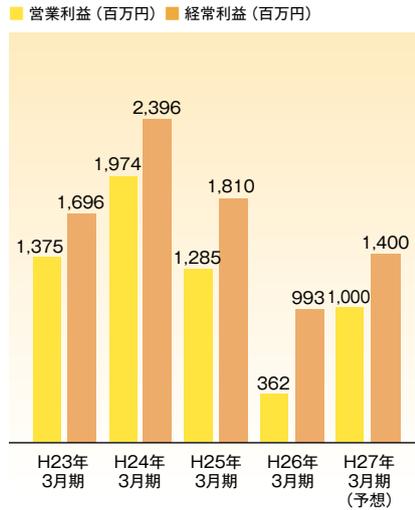


小松精練株式会社  
代表取締役社長 池田 哲夫

## 売上高



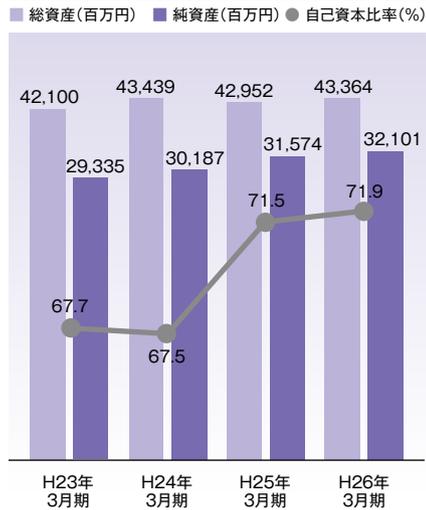
## 営業利益・経常利益



## 当期純利益・1株当たり当期純利益



## 総資産・純資産・自己資本比率

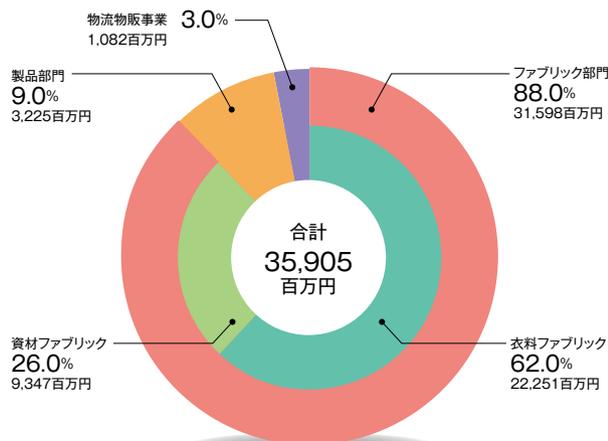


## 1株当たり純資産

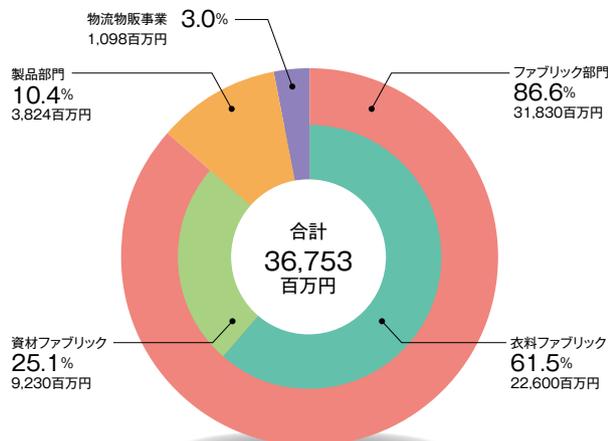


## 事業別売上状況

平成25年4月1日から平成26年3月31日まで



平成25年3月期



平成26年3月期

## 【繊維事業】

衣料ファブリック部門は、得意とする高感性・高機能素材群の開発と市場導入の積極的な推進により、特に世界のファッション市場に影響のある欧州市場を中心にファッション衣料が堅調に推移し増加しました。また、スポーツ衣料はアウター素材を含めて海外市場で持ち直しの兆しが出始めておりますが、在庫過多による中東民族衣装市場の低迷や中国事業の低迷が続いている事により、当部門全体ではわずかな伸長となりました。

資材ファブリック部門は、医療・福祉のメディカル分野及び生活関連資材分野が堅調に推移し増加したものの、リビング分野及び車輛分野は減少となりました。また、超微多孔スポンジ状セラミック基盤「グリーンピズ」は、環境市場に対し積極的な活用提案を行い、建設業界と連携し着実に敷設実績を重ねて市場認知度を高めています。

製品部門は、株式会社パッツの買収効果により拡大しました。

以上の結果、当連結会計年度の当事業の売上高は35,654百万円（前期比2.4%増）となりました。

## 【物流物販事業】

物流分野が堅調に推移し、当連結会計年度の当事業の売上高は1,098百万円（前期比1.5%増）となりました。

## 消費地別売上状況

平成25年4月1日から平成26年3月31日まで



## 【国内売上高】

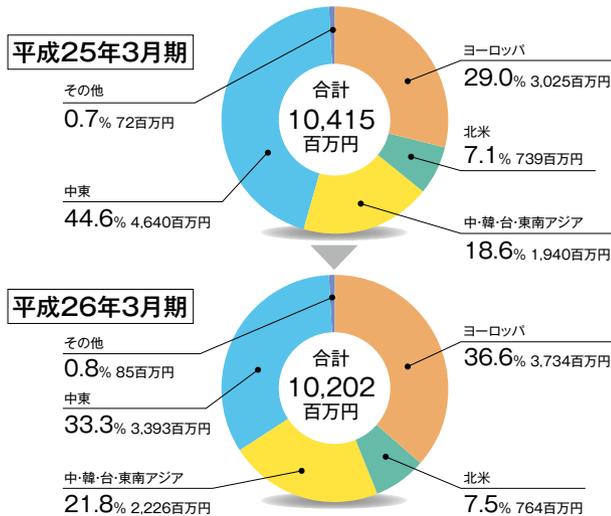
国内売上高につきましては、ファッション衣料や湿布剤等の機能性特殊ニット素材、生活関連資材が堅調に推移しました。しかしながら、リビング関連、車輛関連がともに減少し、前期

比4.2%増の26,551百万円となりました。

## [海外売上高]

世界のファッション市場に影響のある欧州トップメゾンへの差別化高感性素材やオンリーワン素材を積極的に市場投入し販売が堅調に推移しました。しかしながら、中東向けにおいては在庫過多による市場低迷により大幅に減少し、前期比2.1%減の10,202百万円となりました。

### □海外売上高の内訳



今後の経営環境は、景気回復の兆しはあるものの、円安による原燃料の価格上昇や海外経済の減速による下振れリスク、国内における消費増税による消費マインドの低下が懸念され、依然として先行き不透明な状況が継続すると予想されます。

このような中、あらゆる環境の変化にも対応できるよう、生産体制の見直しを中心とした強固な事業基盤を構築致します。

また、持続的な成長の実現を目指すための戦略的な投資を継続して参ります。

### ①先端ファブリックの開発・新規市場の開拓

グループ内や国内外の有力企業、産官学との戦略的連携（クラスター）の強化を図り、美・健康・快適・安全の4つのテーマを軸としたグローバル・マーケットに通用する先端ファブリックのスピーディな開発と新規市場の開拓に努めます。主力の繊維事業の拡大は勿論のこと、特殊セラミックス基盤グリーンビズの事業拡大や先端材料を使用した産業資材分野への取り組みで、新規事業の確立拡大に挑み続けます。

### ②海外市場の拡大

先行する欧州ファッション市場の維持拡大を図るとともに、質・量ともに成長著しい中国に代表されるアジア市場での拡大を図ります。ここ近年事業が低迷していた中国事業の商品の見直しを行い、日本と中国の両生産拠点より海外に向けて販売力の強化を進めます。また、今後も同業を含めた海外企業との連携を更に広げて海外市場の拡大を進めて参ります。

### ③環境対応経営の促進

環境材料や低環境負荷素材等の開発と市場導入を図ると共に、省エネ・省資源・低環境負荷を可能にする生産技術を継続的に向上させ、低エネルギー社会の実現に向けた環境適応ビジネスの推進を強化します。

これらの取り組みをグループ一丸となり推進する事により、平成27年3月期の業績を次の通り予想しております。

	次期の見通し (平成27年3月期)	前期比
■売上高	38,000 百万円	3.4%増
■営業利益	1,000 百万円	175.6%増
■経常利益	1,400 百万円	40.9%増
■当期純利益	1,000 百万円	29.4%増

## 海外ビジネスの強化に向けて

### 国際競争力の高い商品の開発・販売を強化 海外の展示会に積極的に出展

小松精練は、グローバル・マーケットに通用する差別化商品の開発と市場セグメンテーションに基づいた商品戦略の推進により、国内外問わず積極的な市場導入を図っています。

特に日・中・韓・北米に対しての影響力がある欧州市場については、攻めの姿勢を崩さず、積極的な投資を図っています。年2回フランス・パリで開催される世界最高峰の生地の国際見本市「ブルミエール・ヴィジョン (PV)」には今年2月で23回連続出展を行い、2013年9月の「第5回PVアワード」では日本企業初のグランプリを受賞し、世界のトップメゾンから認められています。一方で、質・量ともに成長著しい中国に代表されるアジア市場でも積極的に出展を開催し、海外での新規顧客開拓、並びに販路拡大を図っています。



ブルミエール・ヴィジョン

#### ■海外展示会一覧

2013年 7月	Asia Outdoor Trade Show 2013	中国・南京
2013年 9月	THE MUNICH FABRIC START 14-15 秋冬	ドイツ・ミュンヘン
2013年 9月	ミラノ個展	イタリア・ミラノ
2013年 9月	ブルミエール・ヴィジョン 2014-15 秋冬	フランス・パリ
2013年 10月	インターテキスタイル上海 2013	中国・上海
2013年 11月	韓国個展	韓国・ソウル
2014年 2月	THE MUNICH FABRIC START 2015 春夏	ドイツ・ミュンヘン
2014年 2月	ミラノ個展	イタリア・ミラノ
2014年 2月	ブルミエール・ヴィジョン 2015 春夏	フランス・パリ
2014年 2月	ISPO BEIJING (北京) 2014	中国・北京
2014年 3月	上海個展	中国・上海
2014年 3月	韓国個展	韓国・ソウル

※国内では6月と12月に東京展を開催いたしております。



THE MUNICH FABRIC START



インターテキスタイル上海 2013



ミラノ個展



韓国個展

## 「グリーンビズ」の欧州展開を本格的に開始! イタリア・ミラノに“グリーンビズ・テラス”完成

2013年9月

当社は、「グリーンビズ」の本格的な欧州展開を目的に、イタリア・ミラノにグリーンビズを用いた本格的な屋上庭園“グリーンビズ・テラス”が完成し、現地で披露しました。

現地にて、オープニングイベント“OPEN AIR SHOWROOM OUT DOOR SHARED LIVING by Greenbiz”を開催し、欧州の有力建築関係者100名を招待して、グリーンビズの本格的欧州展開をアピールしました。

ミラノでは2015年『デザインと環境』をテーマに万国博覧会が開催されることとなっており、これから多くの建築関係者等の訪問が予定されています。“グリーンビズ・テラス”の完成を有効活用しながら先行マーケティングを行い、イタリアでの販売を本格化します。

### ■グリーンビズテラス概要

『グリーンビズ・テラス』は、ミラノ市中心部のガルバルディ駅近隣の再開発地区に立地しており、面積は約250㎡。気鋭の若手女性設計チームを起用し、テラス全面に『グリーンビズ』基盤を敷設、低中木を配した屋外リビングとして利用者に癒しとくつろぎを与える憩いの空間を提案しています。



## 経済産業省「グローバルニッチトップ企業100選」に選定されました。

2014年3月

当社は、経済産業省より国際市場の開拓に取り組んでいる企業のうち、ニッチ分野において高いシェアを確保し、良好な経営を実践している企業として『グローバルニッチトップ（GNT）企業

100選』に認定されました。「GNT企業100選」は、グローバルに事業を展開し、国際市場の開拓に取り組み、特定の分野で高いシェアを誇る企業を経済産業省が顕彰するもので、今年はじめて選定が行われました。

この度の表彰は、外部有識者で構成する選定評価委員会の審議を経て、当社の合繊素材に対する数多くの特殊加工技術が、世界のラグジュアリーブランドで多く使用されていると評価されて受賞しました。



## green biz

積極的に市場へ活用提案  
超微多孔発泡セラミックス「グリーンビズ」  
着々と市場認知度を高める

### 建築・建材展2014で発表 採光を重視した新商品

「グリーンビズLouver(ルーバー)」 2014年3月

当社は、超微多孔発泡セラミックス基盤“グリーンビズ”を用いて、適度な光や風を室内に取り込む新しい壁面緑化システム「グリーンビズ・ルーバー」を開発しました。

これまでの壁面全面の緑化から風通しや採光性を考慮した、これまでにない新しい壁面緑化です。2014年3月に国内有数の建築総合展示会である「建築・建材展2014」にて発表しま



した。展示会には国内外から多くのお客様が詰めかけ、特に建築設計、外構設計、不動産開発、インテリア設計などの担当者より高い評価をいただいております。

#### ■新商品「グリーンビズ・ルーバー」の特長

1. 従来の壁面緑化は壁全面を覆うのに対し、グリーンビズ・ルーバーは緑化に加え、隙間を作ることで風通しや採光性に優れています。
2. 設置場所に応じたプランニングが可能です。観葉植物や季節の花を置くことも可能で、自由にアレンジ出来ます。
3. グリーンビズ基盤の優れた保水性・透水性により、頻繁な植物への水やりが不要で手間を省略出来ます。
4. 意匠性にも優れ、空調室外機の目隠しとしても使用出来ます。



### 屋上・壁面・特殊緑化技術コンクール 都市緑化機構会長賞を受賞

2013年10月

公益財団法人 都市緑化機構が主催する「第12回 屋上・壁面・特殊緑化コンクール」の壁面・特殊緑化部門において北陸の企業では初めて都市緑化機構会長賞を受賞しました。

受賞対象は、滋賀県甲賀市信楽のM I H O美学院中等教育学校の壁面緑化で、この室内空間とコケ緑化によるデザインの取り組みや技術開発の先進性が評価されました。

### 「グリーンビズ」が

### 「2013年グッドデザイン賞」を受賞 2013年10月

日本デザイン振興会が主催する「2013年グッドデザイン賞」を受賞しました。今回の受賞は産廃物を原材料とし、陶芸文化と融合させた画期的な建材であり、断熱、吸音、保水効果を持ち合わせ、素材としての新しさや発展性がある。また、製品そのものだけでなく、その開発やプロセスそのものが環境・地域循環型の優れたデザインであると評価されました。



**GOOD DESIGN  
AWARD 2013**

## 新商品紹介

### 光とみずみずしさの新質感テキスタイル 「ルガーノ・ウォーター」発表

2013年9月

「ルガーノ・ウォーター」は、2007年に発表し今もなおヒット商品として展開している最上質うるし調素材「ルガーノ」の技術を応用し開発した新質感テキスタイルです。濡れたような潤い感があり、水表面のような光沢感を発言しつつ、ゼリーのようなプルプルとした膨らみ感を兼ね備えた素材です。

2013年6月から欧州の一部マーケットでテストセールスを実施し、トップメゾンから高い評価を得ました。この評価を受けて、2013年9月のプルミエール・ヴィジョンで世界に向けて発表を行いました。同時に、日本国内向けについても、本格販売を開始しました。

#### ■商品特長

- 織物／編物、薄地／厚地、さらには伸縮性のある素材を含め、あらゆるファブリックを用いた展開が可能です。
- ベースとなる素材は、合成繊維や化繊、また、それらの複合素材など、バリエーション豊富です。
- プリントやボンディング、薄膜加工や機能加工などの後加工との組合せによって、バリエーションを広げることが可能です。



## CSR

### 未来を担う子どもたちに夢と希望を 「子どもマイスターウィーク」を共催

2013年10月



子どもマイスターウィークは、産官学が連携し児童・生徒の観察、実験、工作、調査など幅広い研究や学習に対する興味や関心を高め、創造性豊かな人間形成を図ることを目的に能美市の小中学校を対象に、平成20年より実施されています。期間中、小松精練は自社素材が使われている最新の商品を展示するほか、子どもたちに繊維の不思議や科学の面白さを伝える「科学教室」を行っています。会場には、能美市内の小中学校11校から総数745点もの作品が集まりました。



#### 「子どもマイスター」事業が文部科学大臣表彰を受賞

この度、「子どもマイスター」の事業が文部科学大臣表彰の「科学技術賞（解増進部門）」を受賞しました。この表彰は、この事業が青少年をはじめ広く国民の科学技術の関心及び理解増進にあたりと評価されて受賞となりました。

小松精練は勉強やスポーツを一生懸命がんばる子どもたちが、夢と希望を持って成長できるような地域貢献活動に、これからも積極的に取り組んでいきます。

## 連結貸借対照表の要旨

平成26年3月31日現在

単位：百万円

## 資産の部

科目	当期	前期	増減
■流動資産	25,292	24,537	755
現金及び預金	7,383	7,361	21
受取手形及び売掛金	7,230	7,728	△ 497
有価証券	4,820	3,940	880
たな卸資産	5,260	4,920	339
繰延税金資産	253	257	△ 3
その他	389	380	8
貸倒引当金	△ 45	△ 51	6
■固定資産	18,071	18,414	△ 342
有形固定資産	7,828	7,896	△ 67
建物及び構築物	3,113	3,061	51
機械装置及び運搬具	2,041	2,097	△ 55
土地	2,328	2,443	△ 114
建設仮勘定	31	29	2
その他	312	264	48
無形固定資産	268	239	28
投資その他の資産	9,975	10,279	△ 304
長期預金	1,000	1,000	—
投資有価証券	7,302	7,370	△ 68
繰延税金資産	790	810	△ 19
その他	896	1,116	△ 220
貸倒引当金	△ 13	△ 17	4
資産合計	43,364	42,952	412

## 負債の部

科目	当期	前期	増減
■流動負債	7,255	7,241	13
支払手形及び買掛金	5,482	5,176	305
短期借入金	250	251	△ 0
未払法人税等	71	357	△ 286
賞与引当金	283	343	△ 60
その他	1,167	1,111	56
■固定負債	4,007	4,136	△ 129
退職給付引当金	—	3,419	△ 3,419
退職給付に係る負債	3,323	—	3,323
役員退職慰労引当金	503	516	△ 13
環境対策引当金	11	11	—
その他	169	189	△ 20
負債合計	11,262	11,378	△ 115

## 純資産の部

科目	当期	前期	増減
■株主資本	30,328	30,242	86
資本金	4,680	4,680	—
資本剰余金	4,720	4,720	—
利益剰余金	21,066	20,949	117
自己株式	△ 138	△ 108	△ 30
■その他の包括利益累計額	833	449	384
その他有価証券評価差額金	552	548	3
為替換算調整勘定	261	△ 98	359
退職給付に係る調整累計額	20	—	20
■少数株主持分	938	882	56
純資産合計	32,101	31,574	527
負債・純資産合計	43,364	42,952	412

## 連結損益計算書の要旨

平成25年4月1日から平成26年3月31日まで 単位：百万円

科目	当期	前期	増減
■売上高	36,753	35,905	847
売上原価	29,772	28,874	897
売上総利益	6,981	7,030	△ 49
販売費及び一般管理費	6,618	5,744	873
■営業利益	362	1,285	△ 923
営業外収益	639	565	74
受取利息	39	49	△ 9
受取配当金	105	106	△ 1
為替差益	91	43	47
持分法による投資利益	230	164	65
その他	173	201	△ 27
営業外費用	8	41	△ 32
支払利息	2	2	△ 0
その他	6	38	△ 31
■経常利益	993	1,810	△ 816
特別利益	60	185	△ 125
固定資産売却益	2	0	1
投資有価証券売却益	56	67	△ 11
負ののれん発生益	—	117	△ 117
その他	1	—	1
特別損失	126	132	△ 5
固定資産売却損	0	—	0
固定資産除却損	9	10	△ 0
減損損失	114	18	96
投資有価証券売却損	—	86	△ 86
その他	2	17	△ 15
■税金等調整前当期純利益	927	1,863	△ 935
法人税、住民税及び事業税	337	694	△ 357
法人税等調整額	△ 28	42	△ 70
■少数株主損益調整前当期純利益	617	1,125	△ 507
少数株主利益	△ 154	△ 74	△ 80
■当期純利益	772	1,200	△ 427

連結株主資本等変動計算書要旨

平成25年4月1日から平成26年3月31日まで

単位：百万円

当期

	株主資本					その他の包括利益累計額				少数株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他の有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計		
平成25年3月31日残高	4,680	4,720	20,949	△ 108	30,242	548	△ 98	—	449	882	31,574
連結会計年度中の変動額											
剰余金の配当			△ 600		△ 600						△ 600
当期純利益			772		772						772
持分変動差額			△ 54		△ 54						△ 54
自己株式の取得				△ 5	△ 5						△ 5
自己株式の処分					—						—
持分法適用関連会社の保有する親会社株式				△ 25	△ 25						△ 25
株主資本以外の項目の変動額						3	359	20	384	56	440
連結会計年度中の変動額合計	—	—	117	△ 30	86	3	359	20	384	56	527
平成26年3月31日残高	4,680	4,720	21,066	△ 138	30,328	552	261	20	833	938	32,101

前期

	株主資本					その他の包括利益累計額				少数株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他の有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計		
平成24年3月31日残高	4,680	4,720	20,278	△ 221	29,458	136	△ 265	—	△ 129	858	30,187
連結会計年度中の変動額											
剰余金の配当			△ 513		△ 513						△ 513
当期純利益			1,200		1,200						1,200
持分変動差額					—						—
自己株式の取得				△ 2	△ 2						△ 2
自己株式の処分			△ 16	115	99						99
持分法適用関連会社の保有する親会社株式					—						—
株主資本以外の項目の変動額						411	167	—	578	23	602
連結会計年度中の変動額合計	—	—	670	113	784	411	167	—	578	23	1,386
平成25年3月31日残高	4,680	4,720	20,949	△ 108	30,242	548	△ 98	—	449	882	31,574

連結キャッシュ・フロー計算書の要旨

平成25年4月1日から平成26年3月31日まで

単位：百万円

科目	当期	前期	増減
■営業活動によるキャッシュ・フロー	1,961	1,368	592
税金等調整前当期純利益	927	1,863	△ 935
減価償却費	1,294	1,296	△ 1
負ののれん発生益	—	△ 117	117
引当金の増減額(減少：△)	△ 7	△ 46	38
退職給付に係る負債の増減額(減少：△)	△ 63	—	△ 63
売上債権の増減額(増加：△)	630	654	△ 23
仕入債務の増減額(減少：△)	262	△ 1,481	1,744
たな卸資産の増減額(増加：△)	△ 210	351	△ 562
法人税等の支払・還付(支払：△)	△ 669	△ 1,068	399
その他	△ 202	△ 82	△ 119
■投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,460	△ 383	△ 1,076
固定資産の取得による支出	△ 982	△ 1,124	141
固定資産の売却による収入	2	0	1
定期預金の預入・払戻(預入：△)	△ 61	△ 486	425
有価証券の取得・償還(取得：△)	△ 880	2,040	△ 2,920
投資有価証券の取得・売却(取得：△)	263	△ 19	282
その他	197	△ 794	991
■財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 629	△ 730	100
短期借入金の純増減額(減少：△)	△ 24	△ 313	289
配当金の支払額	△ 600	△ 513	△ 86
その他	△ 5	97	△ 102
■現金及び現金同等物に係る換算差額	76	41	34
■現金及び現金同等物の増減額(減少：△)	△ 51	296	△ 348
■現金及び現金同等物の期首残高	7,304	7,008	296
■現金及び現金同等物の期末残高	7,253	7,304	△ 51

# 株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
基準日	定時株主総会・期末配当 3月31日 中間配当 9月30日
株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人事務取扱場所	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
電話照会先	0120-782-031
URL	<a href="http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html">http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html</a>
1単元の株式の数	1,000株 ※当社は、平成26年5月9日開催の取締役会の決議に基づき、平成26年7月1日を効力発生日として、単元株式数を1,000株から100株に変更することいたしました。
公告の方法	電子公告(当社ウェブサイトに掲載) <a href="http://www.komatsuseiren.co.jp/investor/index.html">http://www.komatsuseiren.co.jp/investor/index.html</a> ※事故やその他やむを得ない事由が生じた場合、日本経済新聞に掲載して行ないます。
上場証券取引所	東京証券取引所 市場第一部

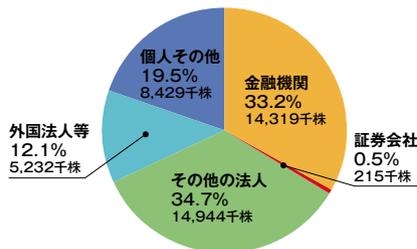
## 住所変更、配当金受取方法の指定・変更、単元未満株式の買取・買増等について

株主様が口座を開設されている証券会社等にお申し出ください。また、証券会社に口座を開設されていない株主様は、特別口座の口座管理機関の上記電話照会先にお申し出ください。なお、単元未満株式の買取・買増の当社にかかる手数料はいずれも無料となっております。

## ◎発行済株式数・株主数

発行済株式数 ● 43,140,999株  
株主数 ● 3,119名

## ◎所有者別分布状況



## ◎大株主（上位10名）

株主名	持株数	持株比率
東レ株式会社	2,649 千株	6.18 %
株式会社北國銀行	2,113 千株	4.93 %
THE SFP VALUE REALIZATION MASTER FUND LIMITED	1,990 千株	4.64 %
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	1,725 千株	4.02 %
小松精練松栄会	1,523 千株	3.55 %
日本生命保険相互会社	1,375 千株	3.21 %
株式会社北陸銀行	1,263 千株	2.95 %
三菱商事株式会社	1,250 千株	2.91 %
三井住友信託銀行株式会社	1,230 千株	2.87 %
株式会社クラレ	1,090 千株	2.54 %

(注) 持株比率は自己株式を控除して計算しております。

## 役員

平成26年6月27日現在

役職	氏名
代表取締役会長	中山 賢一
代表取締役社長	池田 哲夫
常務取締役	中山 大輔
常務取締役	尾野寺 賢
取締役	奥谷 晃宏
取締役	向 潤一郎
取締役	首藤 和彦
取締役	天雲 一裕
取締役	北野 均
監査役	高木 泰治
監査役	阪根 勇
監査役	根上 健正

## 会社の概況

商号	小松精練株式会社
設立年月日	昭和18年10月8日
資本金	46億8,042万円
本社	〒929-0124 石川県能美市浜町又167番地
本社工場	同 上
美川工場	石川県白山市鹿島町1号7番地 1
大阪営業所	大阪府大阪市北区梅田2丁目2番22号 (ハービスENTオフィスタワー8階)
東京営業所	東京都中央区銀座3丁目9番7号 (トランス銀座ビルディング8階)
北陸営業所	石川県能美市浜町又167番地 (小松精練株式会社 本社2階)
上海事務所	中国・上海市延安西路2200号 (上海国際貿易センター1913号)

## グループ会社

小松精練(蘇州)有限公司	中国・江蘇省蘇州市
株式会社コマクソン	石川県能美市
株式会社コマツインターリンク	石川県能美市
株式会社パッツ	東京都渋谷区



[www.komatsuseiren.co.jp/](http://www.komatsuseiren.co.jp/)

